



2015～16 年度
国際ロータリー会長
K. R. ラビンドラン

Weekly Report Niigata



2015～16 年度
新潟ロータリークラブ会長
竹石 松次



世界へのプレゼントになろう

2015～16 年度 国際ロータリーのテーマ

新潟 RC3月第 1 例会 (2016.3.1) No.3124

(1) 「君が代」 斉唱
ロータリーソング「奉仕の理想」 斉唱

(2) 竹石 松次 会長挨拶

阿部展也

大正二年 (1913) ～昭和四十六年 (1971)

五泉市に阿部隆次、シズの長男として生まれる。本名は芳文、生後間もなく実家が大火に遭遇し母の実家 (小須戸) に避難、両親は東京・池之端に移り、自転車部品の製造業を始めた。展也が七歳の時に東京に移り住んだ。十歳の時関東大震災の大地震に見舞われ、豊島区尾久町に移転、小石川の京北中学校に入学するも四年で中退するなど私生活では苦労の連続であった。

学業は優秀であったが絵が好きで、中退後は家を出て独立、絵を描きながら外山卯三郎が主宰する研究所に通った。昭和七年 (1932) 十九歳で独立美術協会展に入選、友人と協会を結成し、阿部芳文の名前で展覧会に出品するなど活躍の場を広げていった。作品は、写実ではなく抽象画が多く、円や曲線を使って陰影を表現するなどピカソ風の作品を手がけ、当時としてはモダンな作品を創作している。視覚に訴えるというより鑑賞者の感性に委ねるという響きを持っている。このことから晩年イタリアで画家生活を送るという創作環境を海外に求めたことを想起させる。

また、千九百三十六年頃から静岡県浜松市で写真機店を経営する伯父中村久三郎宅に身を寄せた関係で写真技術も習得し、絵画、写真という両面で活躍の場を求めた。フォットタイムス社の特派員として中国大陸を取材、千九百四十一年には、陸軍の報道写真班の一員としてフィリピンに派遣されている。

ここでフィリピン女性と結婚、長女が誕生している。この間、収容所生活も体験しており、波乱の人生は続くことになる。

日本に引き上げた展也は、創作活動を再開しフィリピンで体感した植物や生命現象に誘発された作品を発表した。花、樹木、貝殻といった自然の特徴を独自の表現方法で作品を創作した。そのイメージは、萌芽・永遠の愛・アダムとイブといった人間の根源を追求することになる。

展也自身による解説によれば、自然界にある形態は三角と丸ばかりだが、人間が創り出したものの中には四角があり、「その形態の中には人間の精神的要素というか形而上的

なもの、観念、或は、思想などをつつんでしまうだけの安定感というか包容度がある」といっている。戦争体験を作品に仕上げるという創作活動は、作品名に「飢えより」「埋葬より」「変身」「人間」といった当時の世相を大きく反映することとなった。

その手法として「キュービズム」=1907～1914年頃に、ピカソとブラックが始めた革命的な芸術運動、伝統的な遠近法や肉付け法を否定し、絵画の二次元の平面性に即した新しい構造として提示した。対象を多角的に解体し、細分化して再構成することで、絵画を外界から自律したイメージとリズムを持つ世界に作り上げる一を屈指し、我が国の絵画芸術に一石を投ずることとなった。

昭和二十八年 (1953)、日本美術家連盟代表としてインドを訪問、阿部展也の名前で東京で個展を開催、海外作家との交流も活発になる。クロアチア、ウィーン、ニューヨークで開催された国際造形芸術連盟の総会にも日本代表として出席、英語を話せる阿部の存在は大きなものがあった。

昭和三十七年 (1962)、本拠地をイタリアに移しローマに定住することとなった。

昭和三十九年、BSN新潟美術館開館一周年記念の「現代イタリア絵画展—その最新の傾向—」開催のため、美術館事務長が、ローマの阿部展也を訪ね、作品蒐集に大きな役割を演じた。阿部展也五十一歳であった。新潟での現代イタリア美術展には、「十五人のローマ滞在の作家を選びましょう」と提案され、新進気鋭の作家のアトリエに案内し尽力した。

「現代イタリア絵画展」は、新潟地震の翌年、昭和四十年 (1965) 五月から七月まで開催された。ジュゼッペ・ウンチーニ、ルチオ・フォンターナ、エンリコ・カステルラーニ、コンラッド・マーカリッレ、それに阿部展也の作品 (ECHO GREEN) 等、合わせて二十作家の作品が展示された。

図録には阿部の寄稿文が掲載されている。

「ヨーロッパ美術界の現状を見聞した新鮮なところで、この香りを新潟へ、小さい展覧会の形で持って帰りたいが、相談にのってくれるかとのことでお引き受けし、画廊や画家のアトリエへ御一緒し、お手伝いしたのがこの展覧会で

ある・・・。(1965年4月14日ローマにて)

フィッチーニの彫像「裸婦」やピカソの版画などの作品と共に、その作品群は現在も継承されている。

阿部展也は、昭和四十六年、ローマの病院で死去するが、五十八歳の生涯を日本とヨーロッパを駆け抜けた一人の画家は、絵画と共に多くの写真を残している。

平成十二年、新潟市美術館で「阿部展也展」が開催された。

(3) ビジターの紹介

那須野幸作君、本間健一郎君、水本孝夫君、孫 犁 冰君(全員 新潟東 RC SAA)

代表して那須野君、ご挨拶

(4) 米山奨学生 朴 治国さん挨拶・奨学金贈呈

(5) 新会員のご紹介



(医) 本多レディースクリニック
理事長、院長 本多 晃君
ご紹介 徳永 昭輝君
所属委員会 プログラム委員

皆様はじめまして、東区中野山で産婦人科を開業しています本多晃です。この度は竹石松次会長様、徳永昭輝理事様よりご推薦を賜り、伝統ある新潟ロータリークラブに入会させて頂くことになり、心より感謝いたします。私は生まれも育ちも中央区蒲原町で、平成2年に新潟大学を卒業し、新潟大学産婦人科学教室入局後の数年を除いて、今現在も蒲原町に住んでいます。長男が一昨年夏まで野球をやっておりまして、その追っかけを約10年間やっていました。その後はゴルフスクールに通っていますが、なかなか上達しません。初めてのロータリー活動なので右も左もわかりませんが、諸先輩方からご指導、ご鞭撻を賜りながら社会奉仕や地域貢献に努めて参りたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。



(株) 電通東日本 新潟支社
支社長 安野(あんの) 克彦君
ご紹介 竹石 松次君
所属委員会 出席委員

電通東日本の安野克彦(あのかつひこ)と申します。この度は、歴史と伝統ある新潟ロータリークラブへの入会を認めていただきまして、誠にありがとうございます。私は昭和42年1月9日生まれの千葉県出身49歳です。平成7年に弊社に入社以来20年間千葉支社に勤務し、昨年4月に初めての異動で新潟に参りました。当初は単身赴任での生活を想定していたのですが、小学生の娘と離れることが忍びなく、妻子ともども新潟に参りましたこちらでの生活で、それまでほとんど飲まなかった日本酒を沢山飲むようになったことや、通勤時間が半減したこともあり約6キロほど体重が増加してしまいました。春までにいかにこの体重を減らそうか、というのが目下の悩

みとなっております。そのような若輩者ではございますが、ロータリークラブの一員として活動できるよう努力したいと思っております。ご指導ご鞭撻を賜りたく宜しく願い申し上げます。

(6) 100%出席バッチの贈呈

吉田 和弘君	2年	小飯田澄雄君	6年
宇尾野 隆君	8年	山田 隆一君	21年
塚田 正幸君	24年	白勢 仁士君	25年
得永 哲史君	32年	本間 彊君	37年

(7) 誕生日お祝い贈呈(12名)

(8) 結婚記念日お祝いの紹介(13名)

(9) 委員会報告

(10) 各種ご寄付の発表

ロータリー財団寄付発表(織戸 潔委員長)

樋熊 紀雄君 織戸 潔君

米山奨学会寄付発表(小林 敬直委員長)

福地 利明君 徳永 昭輝君

青少年育成基金寄付発表(吉田幹事)

安藤 栄寿君 塚田 正幸君

若杉 武君

(11) ニコニコボックス紹介

- ・那須野幸作君 新潟東ロータリークラブ SAA4人揃って参りました。研鑽勉強しますので宜しくお願い致します。
- ・竹石 松次君 新潟東ロータリークラブ、那須野さん、本間さん、水本さん、孫さんをお迎えして。又、新会員の本多さんと安野さんを歓迎してニコニコします。
- ・塚田 正幸君 3月誕生日で67才になります。又、ロータリークラブ入会24年目。いつの間にか会員の平均年齢を超えました。
- ・福地 利明君 お蔭様で朴君は卒論、就職もうまくゆきました。2年間カウンセラーは何もしないで終わりました。ありがとうございました。
- ・新田 幸壽君 4人目の孫が誕生しました。

(12) 幹事報告(吉田 和弘幹事)

- ・ロータリーレートが3月より116円に変更になりました。
- ・例会後、新会員オリエンテーションを4階「雪の間」で開催致します。
- ・例会後、写真展の打ち合わせをロビーにて開催致します。

(13) 卓話「近年の医療施設設備について」

医療施設向け開発製品の紹介

ダイダン(株)開発技術本部医療推進室

室長 小澤 秀敏 氏

(14) 3月 1日例会の出席率 83.67 %

会員数101名(出席免除会員 9名)

出席者82名(出席免除会員6名を含む)

(2週間前メーク後 88.30 %)

3月15日の例会予定

会員スピーチ (株)新潟三越伊勢丹

代表取締役社長 浅田 龍一 君

新潟ロータリークラブホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>

3月1日 理事会報告 出席者12名

- 1 会長挨拶
- 2 PETSの登録料について=クラブ負担で承認
- 3 地区協議会登録料について=クラブ負担で承認
- 3 青少年育成基金事業の表彰について
(本間 彊青少年奉仕委員長より)
5月末までに推薦候補をまとめ、6月に表彰予定
- 4 入会推薦者について=承認
・全日本空輸株式会社新潟支店支店長 山田浩之君
(職業分類 航空運輸
推薦 竹石松次君、安藤 智君)
- 5 写真展について
浪江よりRC中西会長、吉田幹事、吉田会長エレクト来訪。3月8日11時より展示会場の画廊イタリア軒にて、オープニングセレモニー。その後、例会にメークアップ参加。
- 6 3月のプログラム=承認
3月 1日 卓話「近年の医療施設設備について」
ダイダン(株)開発技術本部医療推進室
室長 小澤 秀敏 氏
3月 8日 「ローターアクト活動報告」
地区大会を終えて
国際ロータリー第2560地区
ローターアクト地区幹事 大倉瑞稀さん (担当 高橋清文 RA 委員長)
3月15日 会員スピーチ (株)新潟三越伊勢丹
代表取締役社長 浅田龍一さん
3月22日 卓話 NPO 法人トキどき応援団
団長 計良 武彦氏
3月29日 卓話「テレビでは聞けない天気の話」
NST 気象予報士 宮崎由衣子氏
(ご紹介 高橋 義明さん)
- 7 その他
・宇尾野 隆会長エレクトより次年度の委員会組織について= 3月15日例会時に発表
・インターアクト海外研修費用負担について=内田インターアクト委員長より
台湾研修旅行に対する費用補助対応説明。承認。
・竹石会長より
2月12日付けで会員に例会出席率向上の通知発送